

## 第26回全港湾青年対策交流集会に出席して

日本海地方青年部境港支部部長 常盤 洸斗

2月21日より開催された第26回全港湾青年対策交流集会は初めて参加しました。

初日の講義では松永書記長より

各協定についての講義をお聞きし、各班に分かれてテーマに沿った意見交換また質問等の作成を行いました。

三・六協定では、三・六協定の上限を守る為には、単に協定を締結するだけでなく、組織全体での継続的な取り組みが求められると感じました。

また、長時間労働の是正は、労働者の健康を守り、産別協定の引き上げは、自身の生活安定に繋がると感じました。

二日目の講義では、千葉中央執行委員より

災害に対して今後どのような行動をするのかの講義をお聞きし、災害を知らない世代にどう教訓を伝えるべきかの重要性を感じました。

時間が経つと、災害の記憶は少しずつ風化していきが東日本大震災のような大きな震災から学んだ事は決して忘れてはならず、ただ出来事を伝えるだけでなく、何があれば助かったのか、何が大変だったのか、という具体的な経験を共有する事が、命を守る行動につながると思いました。

また、避難経路やハザードマップを多くの人に知ってもらう事の重要性を感じ普段から避難場所や避難経路の確認をおこない、港湾で働く者と共有しておくことが重要だと思いました。

過去から学び、今に備え、未来に伝えていく事で、守れる命があり自分にまずできることから行動していきたいです。

また同日午後よりレクリエーションとして、ドッチボールをおこない全国の仲間と汗を流し団結を深めることが出来ました。

最後に今回の全港湾青年対策交流集会で出来た各地本青年部員達との横の繋がりを大事に、境港支部青年部員達への引き継ぎを行っていこうと思います。